







になっています。そういう意味でいきますと、トップラインは例年どおり他の月に比べると低いという状況ではありますが、これは特に懸念するところではないと考えています。

2月以降は、2月に少しオークランドでロックダウンがありましたけれども、計画としては2020年よりも高い計画を立てておりまして、2019年ぐらいまで戻すというところを今のところ目標としております。

**質問：**主要商品での過去の償却率（NCO）のレンジと足元の状況についてご教示ください。可能であれば、債権回収見込みでの与信費用比率の水準感もあればお願いいたします。

**小林：**具体的な数字は、まず償却率のレンジですけれども、こちらは非常に低いレンジで今のところ推移しておりまして、延滞を見ましても直近は非常に下がってきている状況であります。償却率について、ディーラー、これは個人のお客さんになりますけれども、残高対比の年率で0.5%程度になっています。コマーシャルは、さらに低くなっておりまして、大体0.1%の償却率で推移しております。

引当率の水準感としては、大体通常モードで1.5%弱ぐらいが全体のポートフォリオの引当の水準です。直近はコロナの予防的な引当といいますが、昨年の4月に立てた引当の分がありまして、大体1.5%から2%ぐらいの水準で引き当てているということですので、償却率と比較して引当も十分な水準になっています。

[了]